

# 近代縫製新聞

THE MODERN APPAREL TIMES

近代縫製新聞社  
 代表取締役社長 石川 賢 生  
 発行所 東京都品川区北大塚1-15-16  
 発行部 03(3713)1575  
 〒A X 03(371)7490  
 編集所 年 編 4-802P  
 電話 03(371)-7-14850

# 近代縫製新聞

2021年8月5日発行

SDGs取り組み・新商品販売 (HOME 足がよるこぶ つま先フラットソックス) について取材されました。



南島義社長

## エムアンドエムソックス 身近なことから 目標を決め達成

創業1977年の靴下専業の「エムアンドエムソックス」(南島義社長、本社大阪市港区5-16-13)は、繊維業細事業所ながら2009年から環境問題、気温問題、SDGs(持続可能な開発目標)に取り組み、外務省のホームページにおいて今年7月に紹介されたほか、SDGsの専門メディア「ミラサス」にも最近掲載された。程の先進事業所である。応募を呼び寄せ社内のいざこざとしてSDGsの目標が目立つように展示されてきた。ところが同社の姿勢が理解できる。大企業なら当然、社会性、株主への配慮等々も含めてSDGsに取り組む環境に、繊維業界も環境に配慮した企画や包装ラベル、素材、資材が増えているが、まだまだランド企業、大型小売業に限られている。SDGs企画商品として「足がよるこぶ・つま先フラットソックス」を販売する。商品の特色は「古い靴下編機パンナー機で丁寧に編んだハイゲージで



SDGsの目標が目立つように展示

糸の織目が無く見た目も美しい230本のハイゲージのため、ニット感が抜群のシマコットを使用し肌触りが魅力で長持ちです。介護福祉の社員が、開発した介護向けのソックスは、の良く生地が伸び締め付けないので、履き易い特徴。

物販の段ボールは、販売先に理解を得て可能な限り繰り返し使用する。ことで環境保護に努めている。また、パッケージは紙素材を使用する。印刷物は再生紙を使用する。社員意識も高い。

南社長は「SDGsとは、身近なことから取り組めばいい。細事業所では解らないのが実情である。東京オリンピック開催を機に入権重視、SDGsへの関心が少し高まった。消費者の意識も変わりサステイナブルな商品 demands だした。当社は出来ることから目標を決め達成できる事業所として頑張っている。スマホで展示会や販促をしているがネット販売が増えた」と語る。